

財政力指数

財政力指数3年度連続で低下

財政力の強弱を示す指標として用いられる財政力指数は、平成23年度で0.959となっています。

※財政力指数

基準財政収入額／基準財政需要額

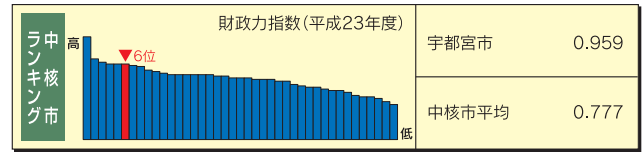
財政力の強弱を示す指標として用いられ、一般的にはこれが1に近いほど財政力が強いとみなされ、1を超える団体は、普通交付税の不交付団体となる。なお、通常は直近3カ年度の平均の数値が用いられる。

※基準財政需要額

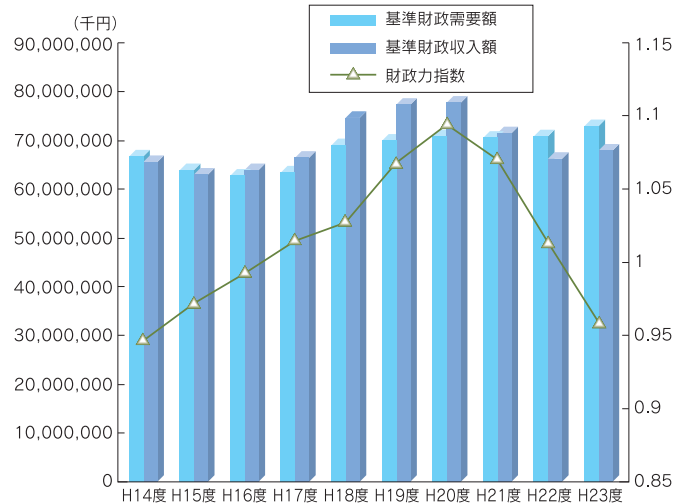
合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要最小限とされる財政需要額。

※基準財政収入額

標準的に徴収することができる税収入を一定の方法で算出した額。



(宇都宮市財政課「宇都宮市の財政」)



※財政力指数は直近3カ年の平均(平成17年度までは、旧宇都宮市の数値) (宇都宮市財政課)

決算

市税収入が微増も低迷 歳出の3割超を占める民生費

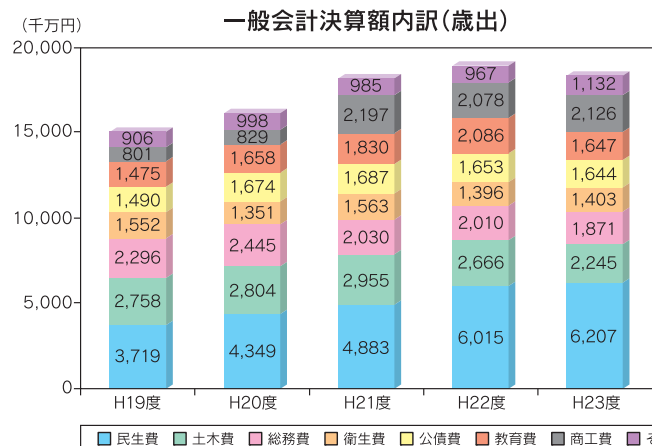
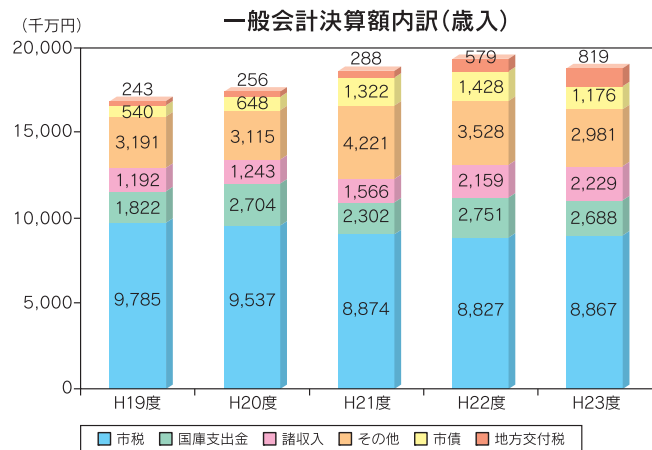
宇都宮市の平成23年度一般会計決算額は、歳入1,876億円、歳出1,827億円となっています。

歳入の内訳では、市税が886億7千万円と最も多く、次いで国庫支出金268億8千万円、諸収入222億9千万円、市債117億6千万円となっています。

歳出では、民生費が620億7千万円と最も多く、次いで土木費224億5千万円、商工費212億6千万円の順となっています。

歳入の推移をみると平成22年度と比べて、市税が微増となりましたが、依然として伸び悩んでいます。

歳出の推移をみると、歳出に占める民生費の割合が高まっています。



(宇都宮市財政課「主要な施策の成果報告書」)

市民1人あたりの税負担

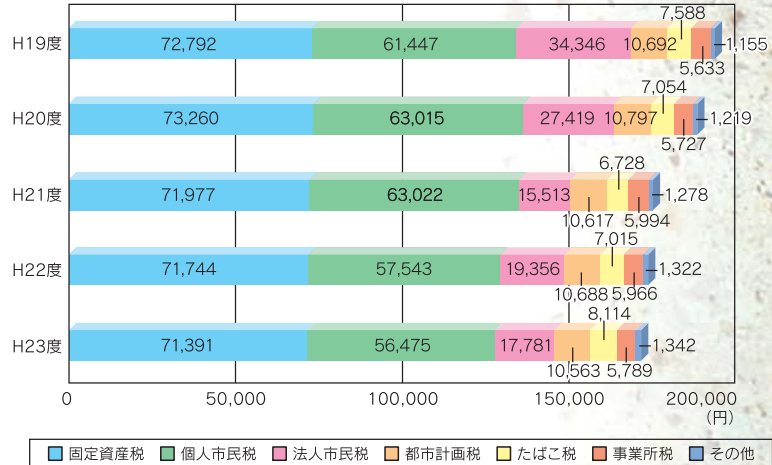
固定資産税、法人・個人市民税 全体の約85%

宇都宮市の平成23年度市税総額は約886億円で、収入全体の47.3%となっています。

市税の収入額を市民1人あたりに換算すると、合計171,455円で、平成20年度から4年度連続で減少しています。特に法人市民税の減少が顕著となっています。

内訳で最も多いのは、固定資産税の71,391円で、続いて個人市民税、法人市民税となっています。

市民一人あたりの市税負担額



(宇都宮市財政課)

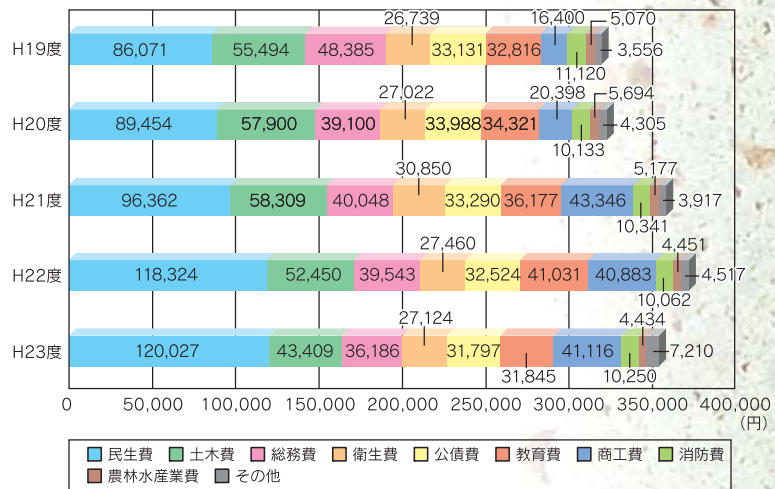
市民1人あたりの支出

目的別では、民生費、土木費、商工費に約58%支出

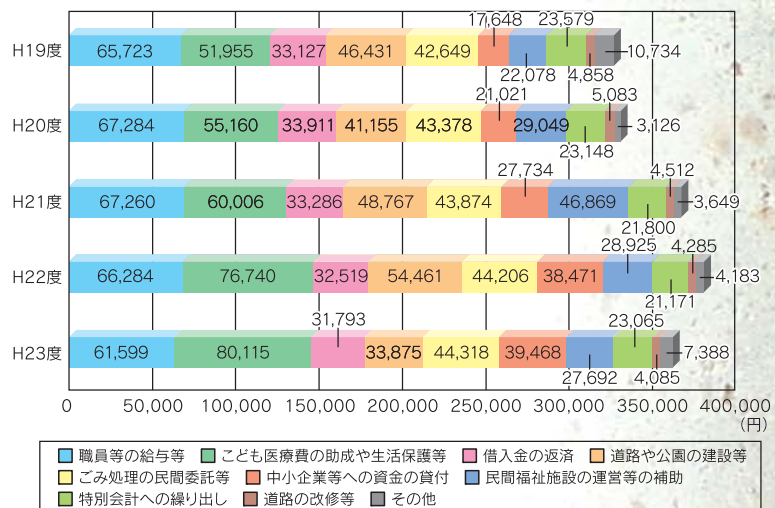
市民1人あたりの支出額、市のお金の使われ方を目的別にみると、保育園や老人ホームなどの「民生費」が最も多く、続いて道路や公園を建設するための「土木費」、商工業を振興するための「商工費」となっています。

性質別にみると、子ども医療費の助成や生活保護等への支出や中小企業等への資金の貸付が増加する一方、増加が続いていた道路や公園の建設等への支出が大きく減少しました。

市民一人あたりの支出額(目的別)



市民一人あたりの支出額(性質別)



(宇都宮市財政課)